



慶應義塾大学ビジネス・スクール

総合電機メーカー 3 社比較 2011年

5

日本の電機業界において、総合電機メーカーと呼ばれる企業は、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社の3社である。同じ業界に属している同業企業なので、これら3社の財務体質はよく似ている。しかし、各社の戦略、近年の業績などを反映して、各社の財務諸表は、それぞれの企業の特徴を表わしてもいる。次ページ以降に、これら3社の連結財務諸表を掲げる。これらの財務情報はわずか数ページのものにすぎないが、そのほかの定性情報と組み合わせれば、多くのことが読み取れる。今までの経験から得られた情報、新聞・雑誌・書籍などの読書によって得られた情報、経営学の学習によって身に着けた分析フレームワークなどをすべて使って、これらの財務諸表から何が読み取れるのか考えなさい。

10

15

【設問】

1. 日立製作所および東芝は、2010年3月期において、税引前当期純利益を上まわる法人税等を計上していた。しかし、2011年3月期における実効税率は、日本の限界法人税率が40パーセント強であることに鑑みるとかなり低いといえる。わずか1期間でこれほど急激に変化した理由を考えよ。
2. 総合電機メーカー3社の売上高原価率、売上高販管費率を計算し、このような順位になっている理由を考えなさい。ただし、三菱電機の販管費が（通常は販管費に含まれる）研究開発費を含んでいないことに注意せよ。
3. 総合メーカー3社の売掛サイト（売掛債権回収期間）と買掛サイト（買掛債務支払期間）を計算しなさい。このような順位になるのはなぜか理由を考えなさい。

20

25

このケースは、クラス討議の資料として、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 太田康広が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 太田康広 (2011年8月作成)